

日本における映画発祥の地、神戸

黒沢清はこの街で生まれ育ち

映画に出会い、映画を撮り始めた

黒沢清、

「映画」を語る



「映画」はなぜ彼を魅了するのか

彼が確信する「映画」のおもしろさとは

世界を舞台に活躍する映画監督が

自身の原点を見つめ直し語り尽くす90分

黒沢清（映画監督・東京藝術大学大学院教授）

1955年神戸生まれ。六甲高校在学時より映画を撮り始め、立教大学にて結成した自主映画製作サークル「パロディアス・ユニティ」の活動は「立教ヌーヴェルヴァーグ」と称され大きな注目を集める。1983年から商業映画に進出、その作品群はカンヌ、ヴェネチア、ベルリンをはじめ世界各地の国際映画祭に招待・出品され各国の映画ファンから絶賛を浴びている。主な作品に『CURE』（1997）、『回路』（2000）、『アカレイミライ』（2002）、『トウキョウソナタ』（2008）などがあり、『回路』でカンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞受賞、最新作『トウキョウソナタ』ではカンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞を受賞。2005年より北野武らとともに東京藝術大学大学院映像研究科の教授として後進の育成にも尽力している。

神戸市外国語大学



関連イベント 於：神戸映画資料館

東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻4期生の修了作品5本を上映  
11月20日(土)16:10～トーク

第4期生監督：大橋礼子、栗本慎介、後閑広、長谷部大輔、ヤング・ポール  
ゲスト：黒沢清(映画監督)

〒651-2187兵庫県神戸市西区学園東町9-1  
神戸市営地下鉄西神山手線「学園都市」駅下車徒歩3分